

令和 6 年 5 月 3 0 日

加盟団体各位

静岡県剣道道場連盟  
会長 渡邊 典夫

全国道場少年剣道選手権大会 静岡県予選会  
(第48回 小・中学生男子の部)  
(第41回 小・中学生女子の部)  
要 項

1. 主 催 : 財団法人 全日本剣道道場連盟
2. 主 管 : 静岡県剣道道場連盟
3. 後 援 : (財)全日本剣道道場連盟及び(社)静岡県剣道連盟
4. 趣 旨 : (財)全日本剣道道場連盟事業の一環として静岡県下の小中学生を対象に剣道の正しい普及および心身の錬磨と相互の親睦をはかり健全な少年の育成を行なう。
5. 日 時 : 令和5年6月2日(日)

【小学生の部】

入館・受付 9:00  
審判会議 9:15  
開始式 9:45  
試合開始 10:00

【中学生の部】

入館・受付 11:00  
開始式 13:00

6. 会 場 : アミューズ豊田  
住所 静岡県磐田市上新屋304
7. 参加資格 : (1) (財)全日本剣道道場連盟に加入している団体であること。  
(2) 静岡県剣道道場連盟に加盟している団体の選手であること  
(3) 少年剣士章(ワッペン)を着用すること。  
(4) 小学生は4年生以上の参加を認める。  
(5) 各部門5名の参加まで可とする
8. 試合方法 : (1) 全日本剣道連盟試合・審判規則並びに同細則に準じて行なう。  
(2) 主催大会実施にあたって感染拡大予防を考慮して行なう。  
※試合者は試合中、面マスク・シールドを着用すること。  
(3) 新型コロナウイルス感染症が収束するまでの暫定的な審判法に準じて行なう。  
(4) 中学生の「上段の構え」「突き技」については、(公財)日本中学校体育連盟剣道部  
申し合わせ事項に準じ禁止する。  
(但し、隻腕の場合は、事前に大会本部に連絡をする。小学生もこれに準ずる。)  
(5) 試合時間は次の通りとする。  
①小学生は2分・3本勝負とし時間内に時間内に勝敗が決しない場合は、延長戦1回を行なう。決着がつかない場合は、判定にて勝敗を決する。  
ただし、準決勝・決勝は延長戦を2分区切りで延長3回で1回5分の休憩をとり勝敗が決するまで行なう。

- ②中学生は2分・3本勝負とし時間内に時間内に勝敗が決しない場合は、延長戦1回を行なう。決着がつかない場合は、判定にて勝敗を決する。  
ただし、準決勝・決勝は3分・3本勝負とする。  
準決勝・決勝の延長戦を2分区切りで延長3回で1回5分の休憩をとり勝敗が決するまで行なう。
- (6) 判定の要件は、道場連盟申し合わせ事項として、積極性及び姿勢態度も重視し総合的に判断する。

9. 参加費 : (1) 1人 2000円

- (2) 参加費は大会会場にて当日徴収する。(開催案内参照のこと)  
※個人戦における参加費は、参加申込み書の人数を基に徴収する。  
(注) 当日の参加人数の変更による参加費の変更はいかなる理由であっても認めない。

10. 参加申込 : (1) 指定の参加申込書により郵送にて申し込む。(開催案内参照のこと)

- (2) 締め切り 小学生の部 令和5年5月19日  
中学生の部 令和5年5月19日

11. 表彰 : 各部門8位までの表彰を行なう。

優勝者については、令和5年10月15日(日)に埼玉県上尾市で行なわれる  
第47回小・中学生男子の部/第40回小・中学生女子の部に出場する。

12. 安全対策 : (1) 出場チームは必ず監督が引率し、大会中の選手の安全・健康管理に努める。

- (2) 大会中の負傷及び疾病については、主催者側において応急処置を施すが、それ以外の責任を負いません。

(3) 選手は各団体で傷害保険に加入の上、参加して下さい。

※少年剣士会員章(ワッペン)着用の選手は、自動的に傷害保険が適用される。

13. その他 : (1) 監督の服装は、正装(スーツ・ネクタイ着用)又は剣道着・袴の着用のみ同席を認める。

(2) 選手変更は、当日、受付まで可能とします。受付の係員に申し出てください。

(3) 選手のゼッケンは、道場名・氏名の明記されたものを着用すること。

但し、全日本剣道道場連盟への登録が中学校名で登録の団体に限り中学校名のゼッケンの着用を認める。

(4) 紅白のタスキは各自で用意すること。

(5) 少年剣士会員章(ワッペン)は右肩に付けて参加のこと。

(6) 竹刀の使用は「SSPシール」の貼付されたものを使用すること。

※2017年から全日本道場連盟の主催する大会において「SSPシール」の貼付された竹刀の使用を義務化されています。静岡県剣道道場連盟においても同様の扱いとする。

(7) 大会当日、体育館内への入館制限は特に設けない。

但し、試合会場への入場は選手と各部門に於いて監督は最大2名までとする。

尚、監督に於いては各部門での入替えは可能。